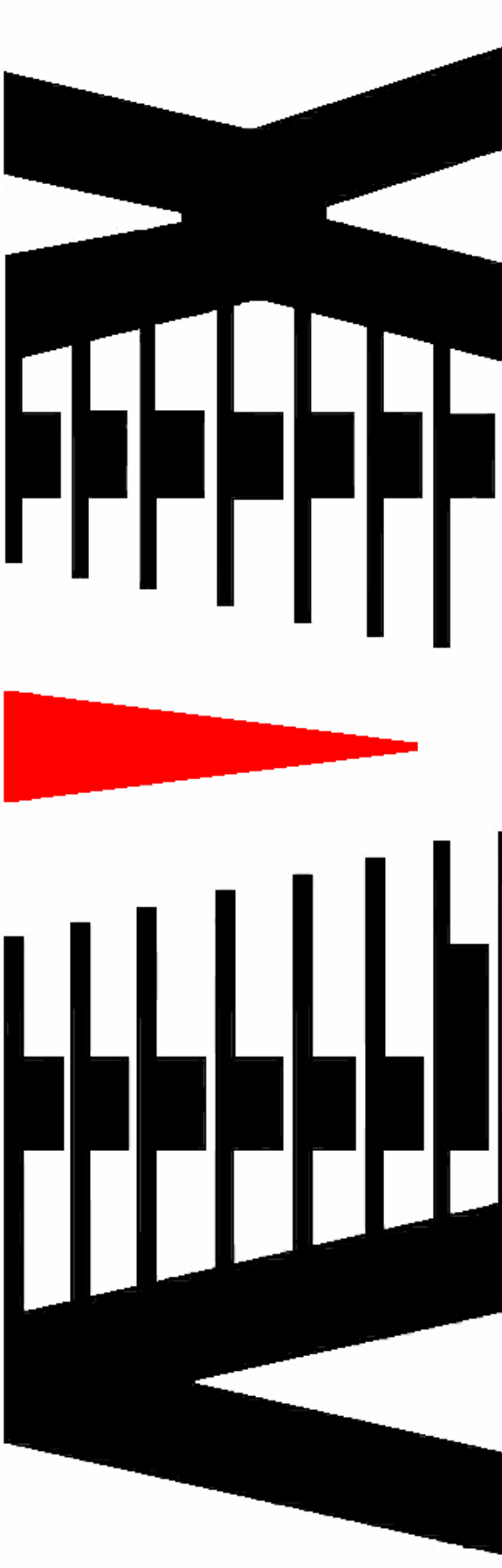
Ｖｉｄｅｏ／Ａｕｄｉｏエラー検出装置・ＶＡＤ－２１０
V/A ERROR DETECTION UNIT

取扱説明書

Ｖｅｒ．２．０



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特長　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　４
３．各部の名称と機能　・・・・・　５
４．接続方法　・・・・・　８
５．ＩＰアドレスの設定　・・・・・　９

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇　内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇　煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇　電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇　電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇　仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇　風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇　次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特長

１．１　ＶＡＤ－２１０の特長

◇現用系・予備系の２系統のＳＤＩ（ＮＴＳＣ）信号を同期させることによって比較し、映像・音声のエラーを検出して、エラー内容をフロントパネルＬＥＤ表示とＴＣＰ／ＩＰ（ソケット）により外部へ通知します。

◇ビデオレベル、オーディオレベル等の映像基準、音声基準のクリアー／エラーを監視します。

◇現用系・予備系の２系統の信号を同期させることによって、両信号の比較を行います。

◇現用系・予備系の遅延量は、±2 フレームまで許容します

◇両信号は同期した形で、個別にアナログＶＢＳ信号で出力され、目視による画像比較も可能です。

◇映像は単画面の他、ウィンドウのある分割画面監視も可能です。

２．仕様

◆現用系映像・音声入力信号
　　入力信号数　　：１系統
　　信号形式　　：映像　：ＮＴＳＣ、ＳＤＩ[Ｄ１]SMPTE259M-C）
　　　　：音声　：エンベデッドオーディオ４ｃｈ（主L，R・副L，R）
　　入力接栓　　：ＢＮＣコネクタ

◆予備系映像・音声入力信号
　　入力信号数　　：１系統
　　信号形式　　：映像　：ＮＴＳＣ、ＳＤＩ[Ｄ１]SMPTE259M-C）
　　　　：音声　：エンベデッドオーディオ４ｃｈ（主L，R・副L，R）
　　入力接栓　　：ＢＮＣコネクタ

◆映像モニタ出力信号
　　出力信号数　　：現用・予備　各１系統
　　信号形式　　：ＮＴＳＣ、アナログＶＢＳ
　　出力接栓　　：ＢＮＣコネクタ

◆映像調整用比較映像モニタ出力信号
　　出力信号数　　：２系統
　　信号形式　　：ＮＴＳＣ、アナログＶＢＳ
　　出力接栓　　：ＢＮＣコネクタ

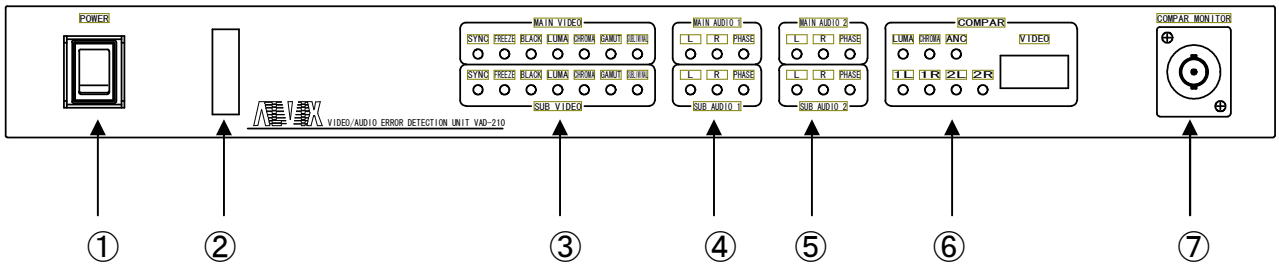
◆音声モニタ出力信号
　　出力信号数　　：2系統X2（現用・予備、各4ｃｈ〔主L，R・副L，R〕）
　　信号形式　　：アナログ　アンバランスステレオ４ｃｈ
　　出力接栓　　：ＲＣＡピンジャック

◆外部通知
　　通信仕様　　：100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
　　プロトコル　　：ＴＣＰ／ＩＰ
　　コネクタ　　：ＲＪ－４５モジュラ

◆外形寸法　　：Ｗ４３０　×　Ｈ４４　×　Ｄ３４９　ｍｍ
◆質　　量　　：約　３　ｋｇ
◆電源電圧　　：１００Ｖ±１０％　ＡＣ　５０／６０Ｈｚ
◆消費電力　　：約　２５　Ｗ
◆使用温度　　：５℃　～　４０℃

3．各部の名称と機能

＜フロントパネルの機能＞



1．POWER

・電源スイッチです。

2．メンテナンスコネクタ

・本体メンテナンス用コネクタです。
・挿抜しないで下さい。

3．ＶＩＤＥＯ　ＥＲＲＯＲ　ＬＥＤ表示（ＢＡＳＥ）

・ＭＡＩＮ　ＶＩＤＥＯ（現用系）

ＳＹＮＣ　　ＳＤＩ入力に同期断を検出した時に点灯します。
ＦＲＥＥＺＥ　ＳＤＩ入力ＢＡＳＥでフリーズを検出した時に点灯します。
ＢＬＡＣＫ　　ＳＤＩ入力ＢＡＳＥで黒味を検出した時に点灯します。
ＬＵＭＡ　　ＳＤＩ入力のＹ信号レベルに異常がある場合に点灯します。
ＣＨＲＯＭＡ　ＳＤＩ入力のＣｂＣｒ信号レベルに異常がある場合に点灯します。
ＧＡＭＵＴ　　ＳＤＩ入力のＹＣｂＣｒをＧＢＲに変換した際、ＧＢＲの信号レベルに異常がある場合に点灯します。
ＳＵＢＬＩＭＩＮＡＬ
閾値以下の間隔でシーンチェンジがあった場合に点灯します。

・ＳＵＢ　ＶＩＤＥＯ（予備系）

ＳＹＮＣ　　ＳＤＩ入力に同期断を検出した時に点灯します。
ＦＲＥＥＺＥ　ＳＤＩ入力ＢＡＳＥでフリーズを検出した時に点灯します。
ＢＬＡＣＫ　　ＳＤＩ入力ＢＡＳＥで黒味を検出した時に点灯します。
ＬＵＭＡ　　ＳＤＩ入力のＹ信号レベルに異常がある場合に点灯します。
ＣＨＲＯＭＡ　ＳＤＩ入力のＣｂＣｒ信号レベルに異常がある場合に点灯します。
ＧＡＭＵＴ　　ＳＤＩ入力のＹＣｂＣｒをＧＢＲに変換した際、ＧＢＲの信号レベルに異常がある場合に点灯します。
ＳＵＢＬＩＭＩＮＡＬ
閾値以下の間隔でシーンチェンジがあった場合に点灯します。

4．AUDIO　ERROR　LED表示

・MAIN　AUDIO　CH1（現用系）

L	AUDIO CH1 L で無音を検出した時に点灯します。
R	AUDIO CH1 R で無音を検出した時に点灯します。
PHASE	AUDIO CH1 で逆相を検出した時に点灯します。

・SUB　AUDIO　CH1（予備系）

L	AUDIO CH1 L で無音を検出した時に点灯します。
R	AUDIO CH1 R で無音を検出した時に点灯します。
PHASE	AUDIO CH1 で逆相を検出した時に点灯します。

5．AUDIO　ERROR　LED表示

・MAIN　AUDIO　CH2（現用系）

L	AUDIO CH2 L で無音を検出した時に点灯します。
R	AUDIO CH2 R で無音を検出した時に点灯します。
PHASE	AUDIO CH2 で逆相を検出した時に点灯します。

・SUB　AUDIO　CH2（予備系）

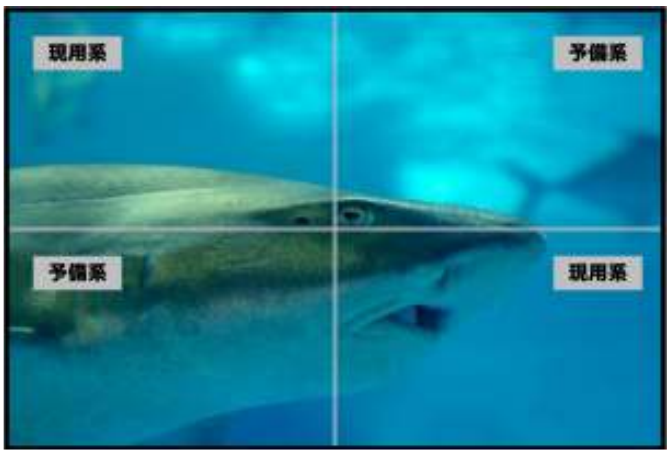
L	AUDIO CH2 L で無音を検出した時に点灯します。
R	AUDIO CH2 R で無音を検出した時に点灯します。
PHASE	AUDIO CH2 で逆相を検出した時に点灯します。

6．比較　ERROR　LED表示

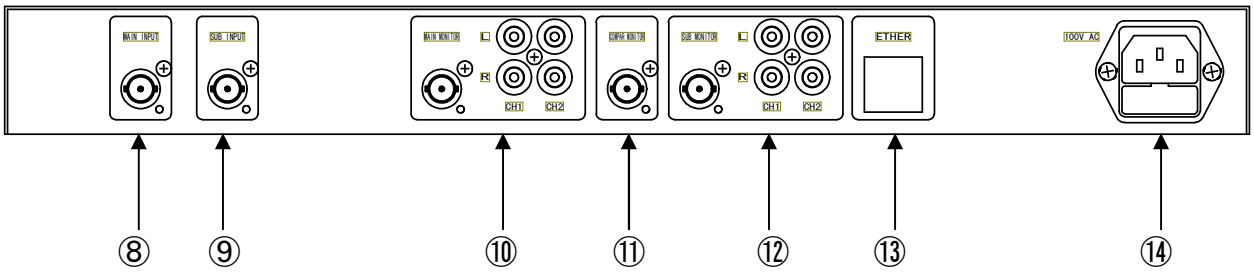
・LUMA	輝度信号データを比較し、データ差がある場合に点灯します。
・CHROMA	色差信号データを比較し、データ差がある場合に点灯します。
・ANC	映像ブランキング期間のデータを比較し、データ差がある場合に点灯します。
・VIDEO	映像比較の不一致ブロック数を表示します。
・1L	AUDIO CH1 L　を比較し、レベル差がある場合に点灯します。
・1R	AUDIO CH1 R　を比較し、レベル差がある場合に点灯します。
・2L	AUDIO CH2 L　を比較し、レベル差がある場合に点灯します。
・2R	AUDIO CH2 R　を比較し、レベル差がある場合に点灯します。

7．COMPAR　MONITOR

・映像調整用比較映像モニタ出力です。
・現用系、予備系の映像が下図のように合成されて出力されます。
・出力はVBSアナログビデオ信号です。



＜リアパネルの機能＞



8．ＭＡＩＮ　ＩＮＰＵＴ
・現用系映像・音声信号入力コネクタです。

9．ＳＵＢ　ＩＮＰＵＴ
・予備系映像・音声信号入力コネクタです。

１０．ＭＡＩＮ　ＭＯＮＩＴＯＲ
・現用系映像・音声モニタ出力コネクタです。
・出力はＶＢＳアナログビデオ信号・アナログアンバランスオーディオです。

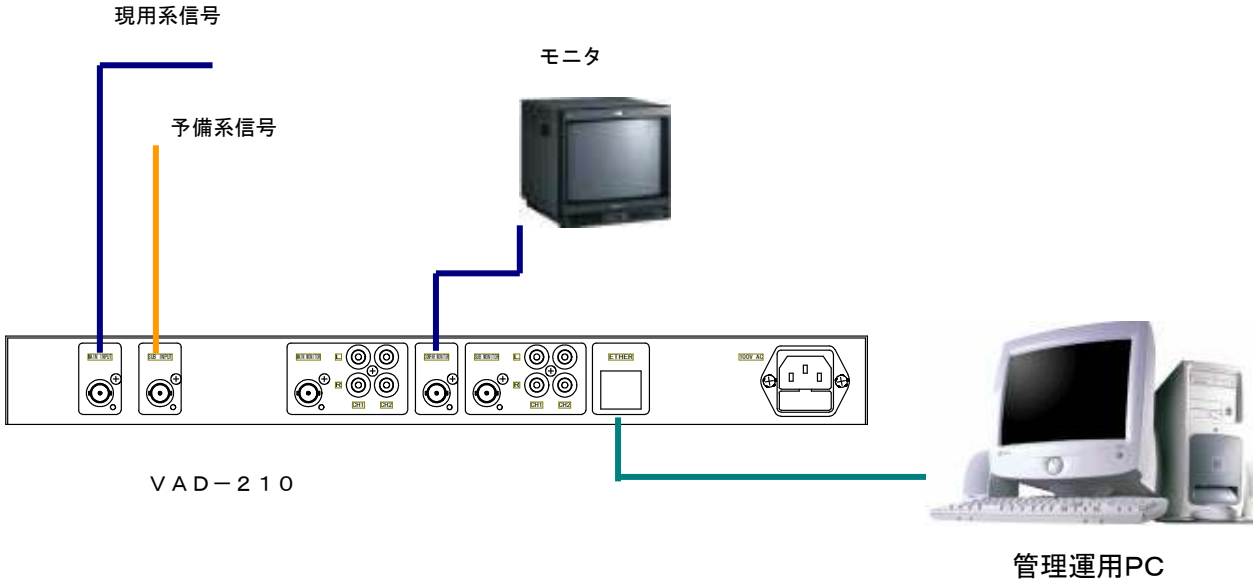
１１．ＣＯＭＰＡＲ　ＭＯＮＩＴＯＲ
・映像調整用比較映像モニタ出力です。
・フロントパネルのＡＤＪＵＳＴ　ＭＯＮＩＴＯＲと同じ信号が出力されます。

１２．ＳＵＢ　ＭＯＮＩＴＯＲ
・予備系映像・音声モニタ出力コネクタです。
・出力はＶＢＳアナログビデオ信号・アナログアンバランスオーディオです。

１３．ＥＴＨＥＲ
・ＬＡＮインターフェースコネクタです。

１４．ＡＣ　ＩＮＰＵＴ
・ＡＣ　入力（３Ｐインレット)です。

4. 接続方法



※映像比較を行うためには、ＭＡＩＮ ＩＮＰＵＴ と ＳＵＢ ＩＮＰＵＴは同一の映像である必要があります。

※ＭＡＩＮ ＩＮＰＵＴ と ＳＵＢ ＩＮＰＵＴ間の遅延時間は、±２フレーム以内であることが必要です。

5. ＩＰアドレスの設定

1）本体ＩＰアドレスの設定

本体のＩＰアドレスは、ＬＡＮ経由で専用ソフト”TASetupX.exe”で変更します。

・本体と Windows パソコンをＬＡＮ経由で接続します。

・ パソコン上で TASetupX.exe を実行します。

新規登録をクリックし、ネットーワーク名に　ＶＡＤ　と入力します。

入力後、ＴＡ管理 - その他の検索 - リフレッシュ検索を選んでください。

リフレッシュ検索すると、現在接続されている本体のＩＰアドレスが表示されます。
複数台接続されている場合も表示されます。

表示されたＩＰアドレスをダブルクリックすると、ＩＰ設定ダイアログが表示されます。

ＩＰアドレスを上書き変更し、送信をクリックします。
変更が完了します。

※ＩＰアドレス以外の設定項目は変更しないでください。

ＩＰアドレスが更新されていることを確かめてください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８